

株主メモ

■事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	6月
■配当金支払株主確定日	3月31日
■中間配当金支払株主確定日	9月30日
■単元株式数	100株
■株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〈お問い合わせ先〉	TEL 0120-232-711 (通話料無料)
〈各種手続用紙のご請求〉	TEL 0120-244-479 (通話料無料)
■同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
■上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
■ホームページ	http://www.taihonet.co.jp/

株主の皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **6470**

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、「いいかぶ」と4文字入れて検索してください。



空メールにより URL 自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なくこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

 大豊工業株式会社

お問い合わせ TEL(0565)28-2225 総務部広報室



第103期 第2四半期株主通信

平成20年4月1日～平成20年9月30日

CONTENTS

- 株主の皆様へ
- 営業の概況
- 中期経営計画
- トピックス
- 業績ハイライト
- 製品のご紹介
- 連結決算の概要
- 会社の概況
- 株式の概要

 大豊工業株式会社

証券コード 6470

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第103期第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の決算の概況につきまして、ご報告申し上げます。

平成20年11月

取締役社長
高橋 清八



営業の概況

当社の置かれた環境

自動車業界におきましては、原材料および原油価格の高騰や景気の先行き不透明感により、国内新車販売台数は前年同期実績を下回りました。また、海外におきましても、世界的な金融不安を背景に北米を中心として、世界的な自動車販売の減速が顕著となり、当社グループを取り巻く環境は、より一層厳しい状況となりました。

当第2四半期累計期間の業績

連結売上高は、自動車用軸受製品およびガasket製品の売上が増加したことにより、529億3千万円となり、前期に比べ8億円（前年同期比1.5%増）の増収となりました。連結営業利益は、18億円となり、前年同期に比べ9億1千万円（前年同期比33.8%減）となりました。連結経常利益は、18億8千万円となり、前年同期に比べ8億8千万円の（前年同期比31.8%減）の減益となりました。連結四半期純利益は9億9千万円となり、前年同期に比べ7億3千万円（前年同期比40.5%減）の減益となりました。

通期の業績見通し

通期の連結業績予想につきましては、売上高1,030億円（前期比5.4%減）、営業利益27億円（前期比53.1%減）、経常利益29億円（前期比48.4%減）、当期純利益16億円（前期比56.7%減）を予想しております。当期の配当金につきましては、中間配当金が、前年同期と同額の1株あたり12円、期末配当金につきましては、1株につき15円を予定しておりますが、下期業績を見極めた上で決定させていただきます。

今後の経営環境および当社の展開

今後の自動車業界におきましては、金融不安を背景とした世界的な景気減速に伴い、自動車生産台数の伸びが期待できないことに加え、原材料価格の高騰など、事業環境は一層厳しさを増すものと予想されます。

このような経営環境の中、更なるグループの経営基盤強化を図り、施策を確実に成果に結びつける中で、品質の造り込み、生産性向上等におけるコスト低減、独自技術を生かした開発力の向上を進め、お客様、株主、従業員、地域社会等、全てのステークホルダーの皆様信頼され、満足いただける強固かつ高収益な体質づくりに向け、グループ一丸となり、努力してまいります。

特に、2008年度は会社重点指針を「自らの仕事の質に『こだわり』を、すべての仕事に改革を！」とし、改めて基本に立ち返り、展開を進めております。

中期経営計画（2006～2008年）

経営方針

技術革新・生産革新により、世界競争を勝ち抜く

スローガン

自ら創造 自ら挑戦

●中期達成目標

- ①環境、安全、コンプライアンスが浸透した風土づくり
- ②技術・品質、No.1の商品づくり
- ③スクラップ&ビルドによる経営資源の集中と、高収益体質づくり
（事業別経営戦略と、グループ経営の強化）
- ④世界競争を勝ち抜く人材の育成と組織づくり

「日本ガasket株式会社」 本社移転完了

当社連結子会社の「日本ガasket株式会社」は、2008年8月に本社を東大阪市から豊田市に移転いたしました。これまで、大阪市と豊田市に分散していた企画、管理、営業部門の新社への集約、最大顧客であるトヨタ自動車株式会社、および親会社の当社と地理的に近接することによる業務の効率化を目的としております。

<日本ガasket株式会社の会社概要>

社名：日本ガasket株式会社
 所在地：愛知県豊田市緑ヶ丘5-14
 出資比率：大豊工業株式会社100%
 業務内容：ガasket製品等の製造
 売上高：115億円（2008年度予定）

<建物概要>

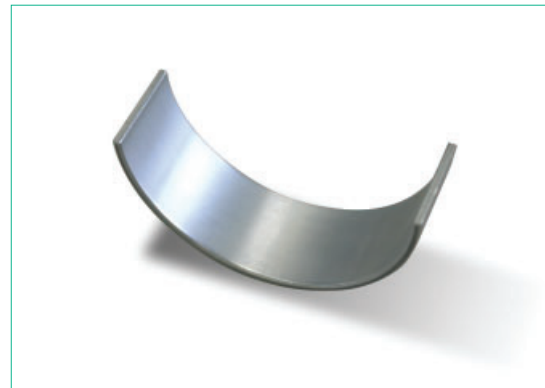
事務棟 鉄筋造 4階建
 1~2階 工場フロア、3~4階 事務部門フロア
 建物面積：646㎡
 延べ床面積：1,999㎡



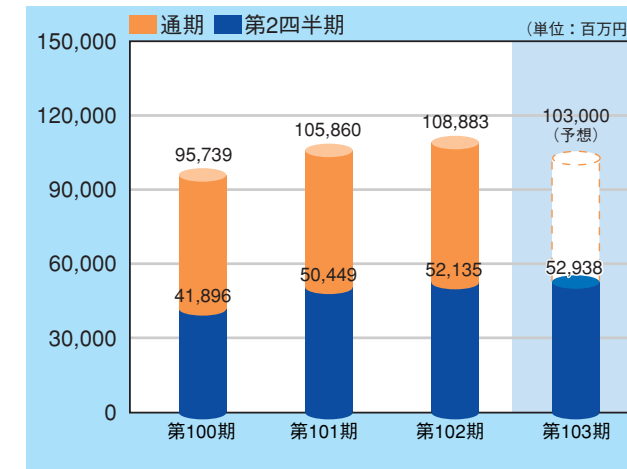
ディーゼルエンジン用鉛フリーエンジンベアリング T300/HS100

ディーゼルエンジンの高性能化により、そのエンジンに使われるエンジンベアリングにかかる負荷が高くなることで、従来に比べエンジン内の異物が原因で、焼付きが発生しやすい状況となっております。

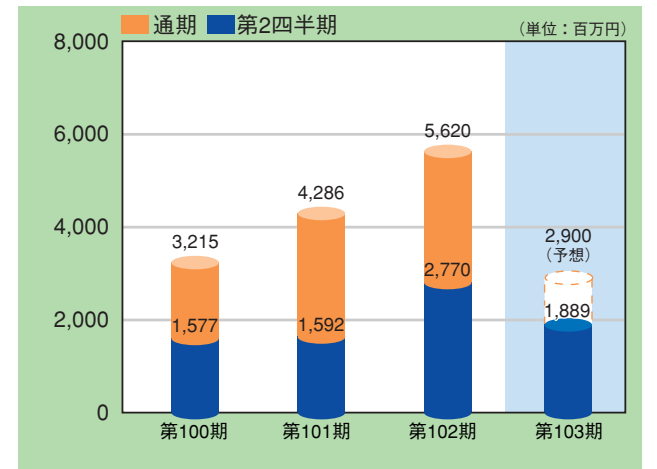
当社が新たに開発した鉛フリーエンジンベアリング「T300/HS100」は、優れた鉛フリー錫オーバーレイ材の適用により、耐異物性が画期的に向上。トヨタ自動車の欧州向け新型車「アベンシス」に搭載されるなど、耐異物性と鉛フリーを両立させたエンジンベアリングとして、自動車メーカーから高い評価を頂いております。



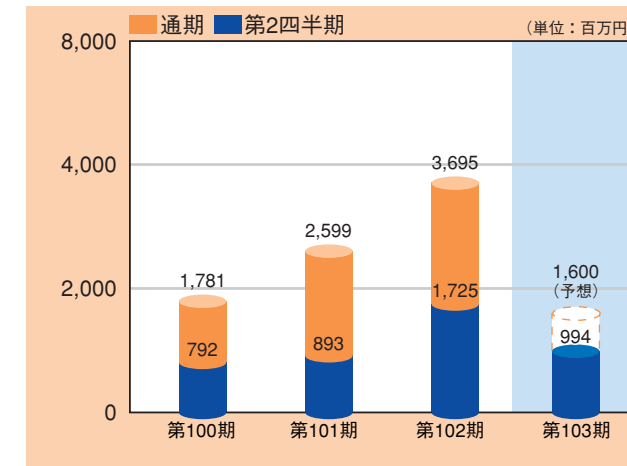
売上高



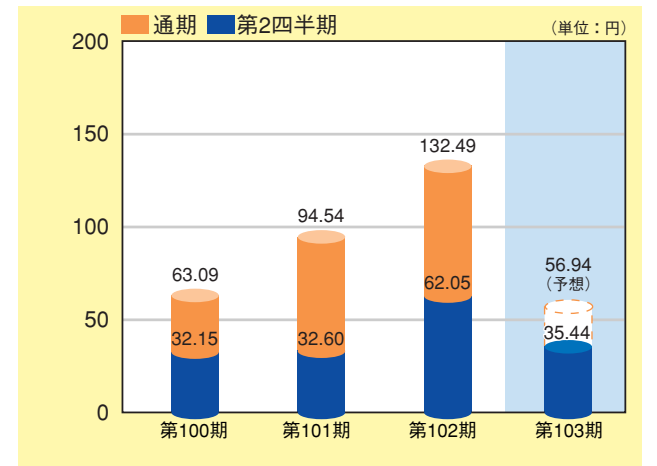
経常利益



当期純利益

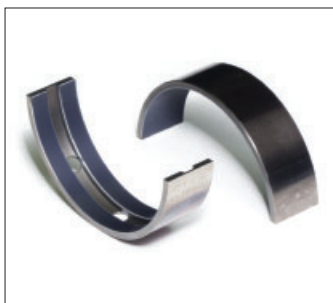


1株当たり当期純利益



■鉛フリー高性能エンジンベアリング

長年に渡るトライボロジー（摩擦・摩耗・潤滑の技術）の研究により、他社に先駆けて鉛フリーエンジンベアリングの実用化に成功しました。当社の鉛フリーエンジンベアリングは、高面圧・高周速領域での使用を実現し、高性能化するエンジンに対応。世界中の自動車メーカーから高く評価されております。



■鉛フリー高性能ブッシュ

優れた耐焼付き性、耐摩耗性を備えた鉛フリーブッシュを開発。トランスミッションに使用される全てのブッシュの鉛フリー化を世界に先駆けて実現し、各社より高い評価を頂いております。



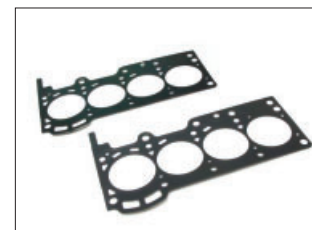
■鉛フリーバランスウエイト

自動車用ホイールに装着されるバランスウエイトは、従来は鉛製であったものを全て鉄製として、鉛フリー化を実現しております。また、クリップタイプ、分離タイプなどさまざまな使用条件に合わせたラインナップをしており、意匠性、取り付け性を損なうことなく使用できます。



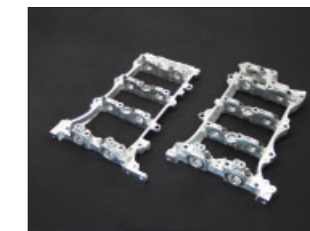
■シリンダヘッドガスケット

小型軽量、高出力、低燃費などの性能向上にともない高筒内圧化が図られるエンジンに優れたシール性に対応。さらに環境負荷物質規制に先駆けて、六価クロムフリー化を実現しております。



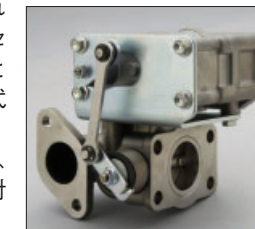
■アルミダイカスト製品

高精度、高強度、複雑形状など、これまでダイカストでは困難とされてきたさまざまな製品に挑戦し、その高度な技術力で付加価値の高い製品を生み出しています。



■バタフライ式EGRバルブ

バタフライ式EGRバルブは、流路抵抗及び駆動力が小さいという利点がありながら、全閉時の締め切り性の悪さといった懸念事項により現在まで採用されてきませんでした。今回新コンセプトのシール構造を開発することで、日本で初めてバタフライ式EGRバルブを実用化しました。大量EGRと精密制御が可能となり、排気規制である新長期規制への対応に大きく貢献しております。



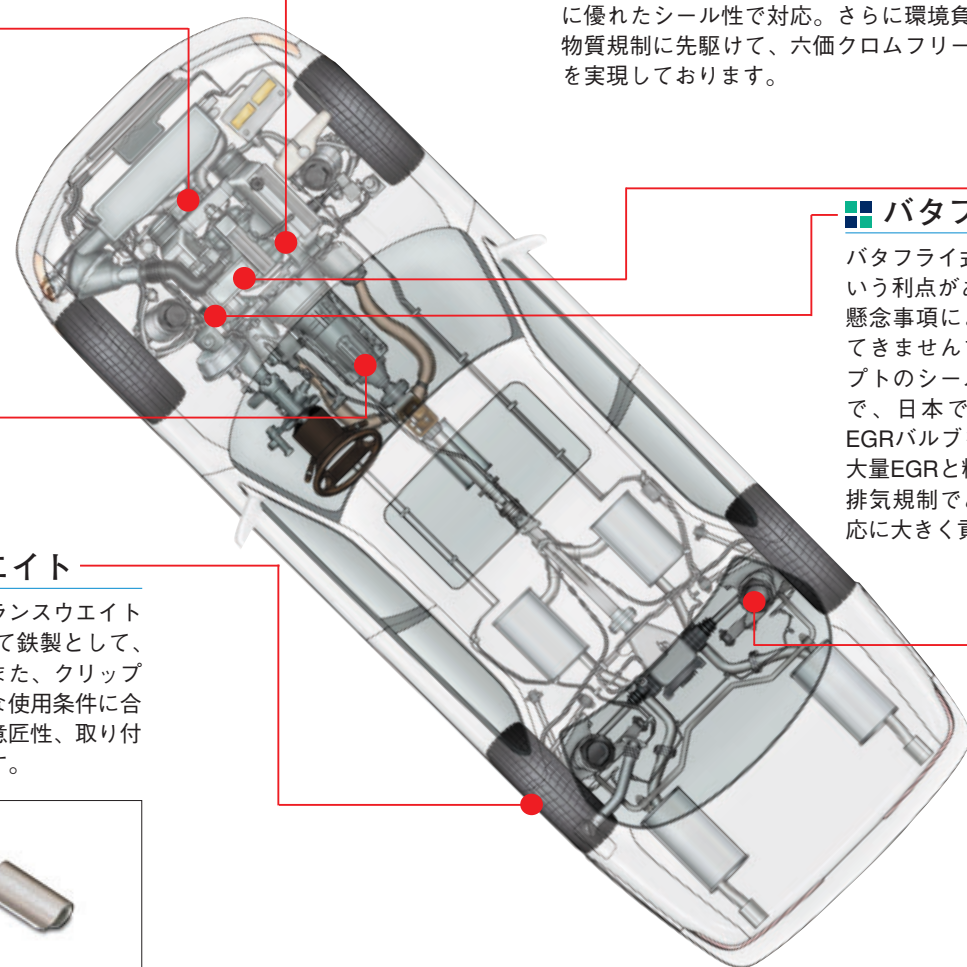
■フロント・ロアアーム/アクスルビーム

新プレス成形工法「パイプ液封成形技術」によりプレス加工されたフロント・ロアアーム/アクスルビームは、部品の軽量化・高剛性化を実現しております。



■精密金型

焼結型、精密鋳造型、精密プラスチック成型型など、多様な用途において極めて高精度を要求される精密金型を製造しています。



連結貸借対照表

単位：百万円

資産の部			負債の部		
科目	当第2四半期 H20.9.30現在	前期 H20.3.31現在	科目	当第2四半期 H20.9.30現在	前期 H20.3.31現在
流動資産	42,298	46,416	流動負債	30,518	33,630
現金及び預金	12,406	14,530	支払手形及び買掛金	14,789	17,174
受取手形及び売掛金	18,461	20,495	短期借入金	2,642	2,116
有価証券	700	499	1年内償還予定の社債	5,000	5,000
たな卸資産	7,792	7,404	未払費用	4,386	4,338
繰延税金資産	1,129	1,184	その他	3,700	5,000
その他	1,826	2,331	固定負債	20,974	21,739
貸倒引当金	△18	△29	社債	10,999	10,999
固定資産	57,458	57,286	長期借入金	5,702	6,222
有形固定資産	51,919	51,405	退職給付引当金	2,240	2,271
建物及び構築物	12,132	12,035	その他	2,033	2,245
機械装置及び運搬具	21,809	22,094	負債合計	51,492	55,370
その他	17,977	17,274	純資産の部		
無形固定資産	611	543	株主資本	46,919	46,364
投資その他の資産	4,927	5,337	資本金	6,193	6,160
合計	99,757	103,702	資本剰余金	9,662	9,629
			利益剰余金	31,251	30,761
			自己株式	△189	△188
			評価・換算差額等	910	1,533
			その他有価証券	143	318
			評価差額金		
			為替換算調整勘定	767	1,215
			新株予約権	60	42
			少数株主持分	374	391
			純資産合計	48,264	48,332
			合計	99,757	103,702

連結損益計算書

単位：百万円

科目	当第2四半期連結累計期間 H20.4.1から H20.9.30まで	前中間連結累計期間 H19.4.1から H19.9.30まで
売上高	52,938	52,135
売上原価	45,708	44,197
販売費及び一般管理費	5,429	5,218
営業利益	1,800	2,718
営業外収益	528	445
営業外費用	439	393
経常利益	1,889	2,770
特別利益	13	2
特別損失	209	39
税金等調整前四半期純利益	1,693	2,733
法人税、住民税及び事業税	377	777
法人税等調整額	276	169
少数株主利益	45	61
四半期純利益	994	1,725

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

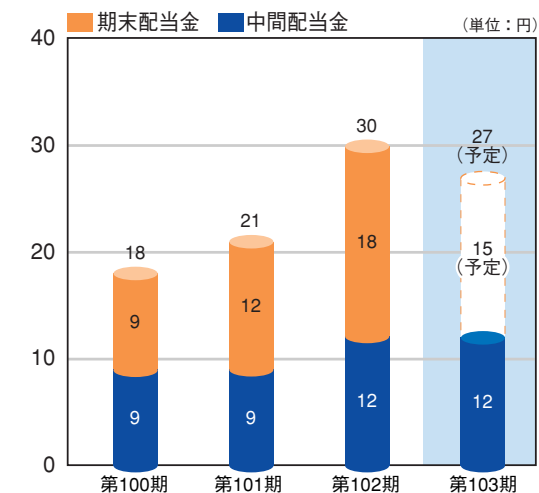
科目	当第2四半期連結累計期間 H20.4.1から H20.9.30まで	前中間連結累計期間 H19.4.1から H19.9.30まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,812	5,262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,260	△4,584
財務活動によるキャッシュ・フロー	△461	△2,240
現金及び現金同等物に係る換算差額	△187	193
現金及び現金同等物の増減額	△2,096	△1,369
現金及び現金同等物の期首残高	13,782	13,060
新規子会社の現金及び現金同等物受入に伴う増加高	—	165
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,685	11,856

中間配当金について

平成20年10月31日開催の取締役会において、平成20年9月30日の最終の株主名簿（実質株主名簿含む）に記載または記録された株主または登録株式質権者に対して行う中間配当につき、次のとおり決議しました。

1. 中間配当金 1株につき12円
2. 効力発生日 平成20年11月26日
ならびに支払開始日

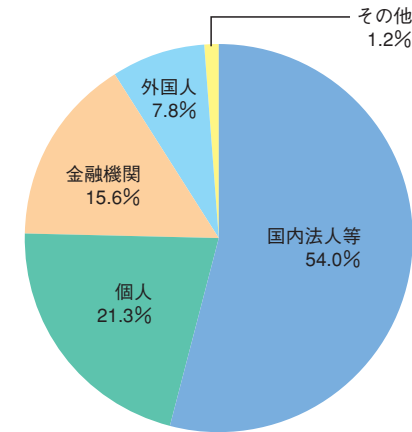
1株当たり年間配当金



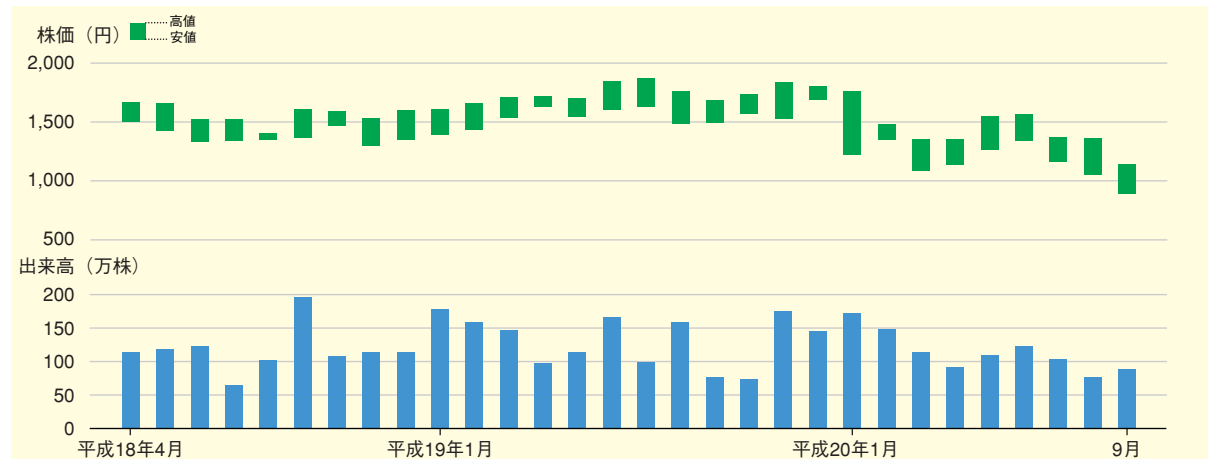
発行可能株式総数	48,400,000株
発行済株式総数	28,222,657株
株主数	4,238名
大株主 (上位10名)	

株主名	持株数 (千株)
トヨタ自動車株式会社	9,676
株式会社豊田自動織機	1,427
日本発条株式会社	1,344
豊田通商株式会社	1,071
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4G)	974
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	959
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	893
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリフィデリティファンズ	446
大豊工業従業員持株会	417
野村信託銀行株式会社 (投信口)	380

所有者別株式分布状況



株価の推移



会社概要

創業 昭和19年1月
 資本金 61億9千3百万円
 従業員数 連結：3,409名
 単独：1,553名
 本社所在地 〒471-8502
 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65
 TEL (0565) 28-2225 (代表)
 事業内容 軸受製品、ダイカスト製品、ガスケット
 製品、組付製品他、精密金型
 上記製品の製造および販売

事業所および営業所

- 本社/本社工場 (愛知県豊田市)
- 細谷工場 (愛知県豊田市)
- 篠原工場 (愛知県豊田市)
- 九州工場 (鹿児島県出水市)
- 春日井工場 (愛知県春日井市)
- 幸海工場 (愛知県豊田市)
- 土岐工場 (岐阜県土岐市)
- 東京営業所 (東京都中央区)
- 大阪営業所 (大阪府大阪市淀川区)
- 静岡営業所 (静岡県掛川市)
- デュッセルドルフ事務所 (ドイツ)

主な子会社

- 大豊精機株式会社
- 株式会社ティーイーティー
- 株式会社タイハウ ライフ サービス
- 株式会社タイハウ テクノ サービス
- 株式会社タイハウ パーツ センター
- 大豊岐阜株式会社
- 日本ガスケット株式会社
- タイハウ コーポレーション オブ アメリカ
- タイハウ ヌサンタラ株式会社
- タイハウ コーポレーション オブ ヨーロッパ有限会社
- 韓国大豊株式会社
- 大豊工業 (煙台) 有限公司
- タイハウタイランド株式会社
- タイハウ マニュファクチャリング オブ テネシー LLC

役員

取締役社長	高橋 清 八
取締役副社長	河野 弘 義
取締役専務	天野 利 紀
取締役専務	斎藤 和 幸
取締役専務	熊田 喜 生
取締役専務	山崎 謙 一
取締役専務	近藤 隆 彦
取締役専務	河野 文 隆
取締役専務	野村 義 則
取締役専務	松野 雅 廣
取締役専務	神谷 敬 一
取締役専務	川上 真 也
取締役専務	佐藤 英 知
取締役専務	柴田 兼 次
常勤監査役	野々山 秀 夫
常勤監査役	岩堀 康 仁
監査役	伊藤 藤 英
監査役	藤 英 成